

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	ふたば		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 1日 ～ 令和7年 9月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 1日 ～ 令和7年 9月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	他事業との交流 同年代の地域の子どもとの交流	地域の私立や市立の保育園との定期的な交流を増やしている。 聾学校への研修参加などにより、手話やハンドサイン、絵カードや写真カードなどの視覚支援を導入している。 他事業所への見学などの実施している。	地域の小学校との交流を増やしていく。 個別性を重視した療育活動の充実。
2	イベント開催や社会科見学など様々な経験や体験を提供している	外部のボランティアや地域のお店などの協力を得て、様々なイベント開催や社会科見学などを行っている。 プール活動やお散歩、日光浴、遠足など課外活動を積極的に行った。	引き続き継続していく。
3	看護師の配置が充実しているため、医療的ケアが多くても対応可能	ご家族からの健康面での相談や、栄養面、医療的ケアについての悩みについて解消できる様心がけている。 新しい知識習得のため、動画研修を取り入れるなど整備している。 災害時に備え地域の事業所と連携できるよう取り組んでいる。	引き続き継続していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	看護師が多く医療ケアに十分対応可能であるが、療育活動に関してもう少し個別性に合わせた活動が必要である。	療育に関わる経験が浅いため。	スタッフ研修 他事業所への見学、研修 自己研鑽
2			
3			